

ジュニア防災リーダー発足式に参加しました!

6月20日(日)に令和3年度ジュニア防災リーダークラブの発足式が愛媛大学南加記念ホールで行われ本校から8名が参加しました。当時は松山市防災リーダー育成センター長の矢田先生の挨拶の後、同センターの中尾先生より活動紹介、高校和2年度の優秀表彰者発表、高校生は行切生命セイセイセンターや防災士の命を守る・つなげる」などが行われました。優秀表彰者発表では、本校織維科3年の矢野心愛さんと横川未歩さんと横川未歩さんが合格し防災士帽子とジャケットとして宣誓を行いました。最後に、岡本彩一としての宣誓を代表として行いました。また、昨年度防災士に合格した高校生11名の紹介があり、本校から4名が合格しました。最後に、岡本彩一としての宣誓を代表として行いました。



海外防災交流会でアジアの防災教育について学ぶ!!



タイとネパールの学生とオンライン交流

7月5日と12日の二日間、松山東高校で、オンライン海外防災交流会が行われました。これは松山市が進めている切れ目のない全世代型防災教育の一環で行われ、日本からは松山東高校と本校が参加、5日はバンコクにあるナビミンドラ・ジュディラ・ジュ大学の学生と、12日はネパールのバサラ学校(小6～高1)とサラスオティ学校(小4～高1)の生徒と交流しました。両日とも松山の紹介や愛媛の災害、各校の防災への取組を発表し、お互い意見交換を行いました。慣れない英語でのプレゼンに準備段階から戸惑いましたが、何とか発表することができました。次回は10月に行われる予定で、今度は、海外の事例や防災教育について発表を聞きます。海外の防災教育について学び、「これから地域防災に生きかしいけるように頑張りたい」と思っています!! 担当 松野京介

NPO登録審査会参加



7月4日(日)松山市のNPO登録のための審査会が行われ、本校の「地域の未来プロジエクト」の登録のためプレゼンを行いました。プレゼンを行ったのは工業化学科3年の徳永さんです。審査会では、小中学校で行う地域防災啓発のためのSOF新聞の発行について提案しました。審査の結果、松山市のNPOとして登録されました。今後は、SDGsの視点を地域防災に生かした取組を拡大していきたいと思います。みなさんよろしくお願ひいたします。担当 德永 実胡斗

西日本豪雨から3年

平成30年に発生した西日本を中心とした豪雨災害から、の7月7日で3年が過ぎました。愛媛県ではこの豪雨で6人の災害関連死を含む33人が死亡し、1人が安否不明となっています。

7月1日時点で212人が仮設住宅で暮らしていて、復興はまだ道半ばということです。

5月21日でもお知らせしましたように、避難勧告が廃止され、避難指示に一本化されました。命を守るために一番重要なのはみんなの行動です。いくら情報が与えられてもみなさんが行動しなければ避難はできないからです。

今回は「なぜ人は情報が与えられてもなかなか逃げようとしないのか」について考えたいと思います。

なぜみんな避難しないのか!!

3年前の西日本豪雨で松山市に避難勧告が発令され、避難を行つた人の割合を御存じですか? 当時松山市に41万人に避難したのは56人、たったの0.2%だったとし避難勧告という言葉があいまいだったとしても、なぜか避難しない人がいるのです。

自分自身の行動や能力、状態などで空振りが続くと信頼度が低くなり、情報を受け取っても住民が避難しなくなること。

オカミ効果

みんなでいれば怖くない」という科学的根拠のない心理状態のこと、みんなと同じ行動をしている安心感から、逃げる等の行動のタイミングが遅れたりする。

楽観バイアス

自分が命を守るために一番重要なのはみんなの行動です。いくら情報が与えられてもみなさんが行動しなければ避難はできないからです。

集団同調性バイアス

自分が命を守るために一番重要なのはみんなの行動です。いくら情報が与えられてもみなさんが行動しなければ避難はできないからです。

正常性バイアス

多少の異常事態が起つても、それを正常の範囲内としてとらえ、「自分は丈夫」と思いこませ心を平静に保とうとする働き。非常時には避難の遅れにつながる。



警戒レベル4(避難指示)で危険な場所から全員避難しましょう。警戒レベル5(緊急案あ全確保)は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5の発令を待ってはいけません。

相手は自然。想定外の事態が起こることもあります。訓練どおり行動することがよいとは限りません。自分が置かれた状況を見極め、どこにどのように避難することが最善かを考え行動しましょう。

原則三：率先避難者たれ!

まずはあなたが勇気をもって逃げる」とともあります。訓練どおり行動することがよいとは限りません。自分が置かれた状況を見極め、どこにどのように避難する。

担当 門屋 穂香

まつやま
内水ハザードマップ
まつやま
洪水ハザードマップ
まつやま
土砂ハザードマップ
まつやま
津波ハザードマップ

まつやま
内水ハザードマップ
まつやま
洪水ハザードマップ
まつやま
土砂ハザードマップ
まつやま
津波ハザードマップ

ハザードマップの活用手順

①マップ入手する
まつやま
内水ハザードマップ
まつやま
洪水ハザードマップ
まつやま
土砂ハザードマップ
まつやま
津波ハザードマップ

②被害予測を確認
まつやま
内水ハザードマップ
まつやま
洪水ハザードマップ
まつやま
土砂ハザードマップ
まつやま
津波ハザードマップ

③自宅からの避難経路を確認
まつやま
内水ハザードマップ
まつやま
洪水ハザードマップ
まつやま
土砂ハザードマップ
まつやま
津波ハザードマップ

④勤務先・学校から自宅への経路を確認
まつやま
内水ハザードマップ
まつやま
洪水ハザードマップ
まつやま
土砂ハザードマップ
まつやま
津波ハザードマップ

ハザードマップを活用しよう!!

は「偏見」「先入観」「思い込み」などと定義されています。



①パソコンやタブレット端末、スマートフォンで「ハザードマップポータルサイト」にアクセスし、「国土交通省ハザードマップ」などと検索すると出てきます。

②ハザードマップポータルサイトのトップページ左側のスペースに、住所を入力します。

災害種別で選択



洪水



土砂災害



高潮

(想定最大規模)

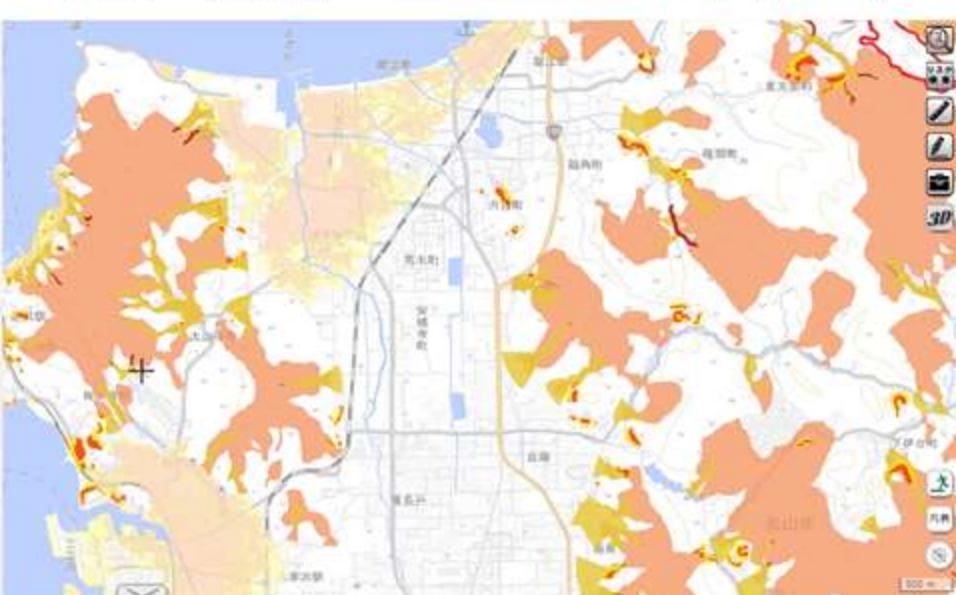
(想定最大規模)



道路防災情報



地形分類



④も簡単にできます。例えば洪水を選ぶと、川の周辺に色が付きます。地図上に洪水の浸水想定区域のある地域が表示されます。土砂災害のマークも選択してみると、地図上に色の塗られた箇所が増えます。このように住んでいる場所の災害のリスクをることができます。

担当 竹嶋 駿太朗

重ねるハザードマップを活用してみよう!!

①国土交通省は様々な災害リスクの情報を、1つの地図上に重ねて表示できる「重ねるハザードマップ」を作成し、的確な行動を呼び掛けています。

②全国の市町村が作成したハザードマップをより活用しやすくするため、国土交通省が公開しているのが「重ねるハザードマップ」です。

「洪水」「土砂災害」「津波」など、災害の種別ごとに1つの地図上に重ねて表示できるシステムで、パソコンやスマートフォンで全国どこでも災害の危険がある場所を確認することができます。

③検索ボタンを押すと、画面には検索した場所の地図が表示されます。この地図は移動させたり、縮小・拡大

120位/153か国

までは、アイスランド、フィンランド、ノルウェー、「ヨーロッパ・ランド」、スウェーデン。日本は120位で、昨年の121位から1つ順位を上げましたが、過去ワースト2の順位となりました。その他、ドイツ11位、フランス16位、英国23位、カナダ24位、米国30位、イタリア63位で、日本はG7の中で圧倒的に最下位。韓国は102位、中国は107位で日本より上位となっています。

図表1 G7諸国の男女平等度ランキング

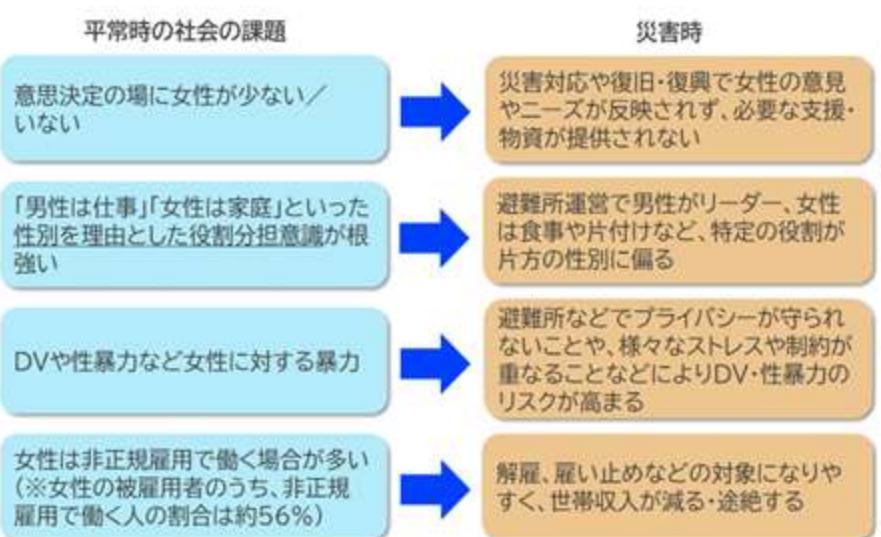
指標名	ジェンダーギャップ指数		ジェンダー不平等指数	
G7順位	国名	世界順位	国名	世界順位
1位	ドイツ	11位	フランス	8位
2位	フランス	16位	イタリア	14位
3位	英国	23位	カナダ	19位
4位	カナダ	24位	ドイツ	20位
5位	米国	30位	日本	24位
6位	イタリア	63位	英国	31位
7位	日本	120位	米国	46位
参考	韓国	102位	韓国	11位
対象国	156カ国		162カ国	
公表年次	2021年		2020年	
作成機関	世界経済フォーラム		国連開発計画	

(資料) 世界経済フォーラム「Global Gender Gap Report 2021」、国連開発計画「人間開発報告書2020」

世界ジエンダー・ギヤップランキング

日本は、2015年が101位、2016年が111位、2017年が114位と順位を落とし、2018年は110位になりましたが、2020年は過去最高の21位となりました。

90年には史上最下位の12位にまで転落しました。今回120位となりました、日本の評価は、「項目」ごとに優劣がはっきりして、読み書き能力、初等教育（小学校）出生率の分野では、男女間に不平等は目られないという評価で昨年同様世界1位一方、中等教育（中学校・高校）、高等教育（大学・大学院）、労働所得、政治家、経営管理職、教授・専門職、国会議員数では男女間に差が大きいとの評価で世界ランクがいすれも100位以下。その中でも、最も低いのが、国会議員数で140位、立法者、高官、管理職数で139位、閣僚数で126位とかなり低くなっています。その他の項目でも50位以内に入った項目はありません。



SDGsの取組紹介



33年にわたり、働く人とその家族への支援を行つてきたサクセスブレーンズ㈱は、誰かをケアする人（ケアラー）にこそ何よりも手厚いケアが必要であるとの思いから、研修看護師の方や新人看護師の方への「ミニユーティション」研修、絆づくり研修、人間関係ワークショップ、介護職の皆さんへのストレス対応研修、保育師の皆さんへのリストライング

男女共同参画の視点に立った取組を進めると

- ・意思決定の場に女性が参画し、防災対策に女性の視点が入ることで、女性と男性の異なるニーズや課題が的確に把握される
 - ・高齢者、障害者、乳幼児などの介護・介助をするケア者(多くの場合女性)のニーズを踏まえた支援ができる

女性と男性で異なる被害の影響が軽減される
要配慮者の支援が充実する

- ・男女共同参画部局・男女共同参画センターと連携し、防災・復興のあらゆる施策に女性の視点が組み込まれる
 - ・女性の防災人材の育成により、地域で女性の防災リーダーが増える

女性と男性がともに防災・復興に参画し、協力する
ためにより「災害に強い社会」が作られる



ストレスが呼び込むストレス



目指すゴール：3:8:10:11:16



いろいろなチャンスを生かし、いろいろな人とつながりながら多くの経験をしていきたいと思っています。感謝を述べ、充実した講演会は終わりました。お忙しい中、足を運んでいただいた住吉さんに生徒職員一同感謝しています。今度ぜひコラボしましょう!!

担当 岡本 彩加

夕をはじめ風水害24公認ファシリテーターとして企業と行政、中高生をはじめとした様々な人たちと連携しSDGsの視点で地方創生や風水害リテラシーの必要性について「ワークショップ等を行つております。講演会では、SDGsを共通言語にしてつながり、行動した結果、チャレンジの好循環が生まれ、様々な方と知り合い、いろいろな経験や視野、考え方が広がったことや、「これから」の未来を創るために何をする必要があるのかなどについて分かりやすく話してくださいました。

最後に、校内外で防災リーダーとしてまた、防災としていろいろな地域の方や小中高大学生の方々と地域防災啓発活動を行つていい、本校3年纖維科の岡本彩加さんが、「Jの活動の中で、多くの方々と触れ合

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



未来は目指し、創るもの
つながりの可能性を信じ、行動しよう